

2022年11月1日
日本材料技研株式会社

MXene に関する米国ドレクセル大学とのライセンス契約の締結について

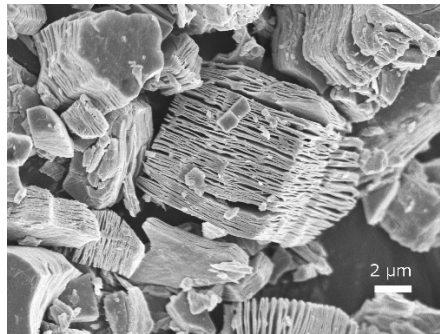
日本材料技研株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 浦田 興優、以下「当社」）は、このたび、二次元層状化合物 MXene（マキシ）について、欧米等で当該物質の基本的な特許を有する米国 Drexel University（以下「ドレクセル大学」）との間で、ライセンス契約（以下「本契約」）を締結しました。

本契約は、2011年にドレクセル大学研究チームによって発表された二次元層状化合物 MXene（マキシ）に関して、教育・研究用途に限定して、米国、欧州、中国を対象に製造、使用、輸入及び販売することを許諾される非独占的ライセンス契約です。

当社は、MXene の工業的製法確立に取り組み、ドレクセル大学の特許を侵害することのない日本国内を中心に2020年からMXeneの製造・販売を行ってまいりましたが、今後、本契約に基づき、全世界を対象として、大学、公的研究機関、企業の研究所等へのサンプル提供や共同開発等にも取り組んでまいります。

許諾対象物質は、一般式 $M_{n+1}X_n$ で表される金属炭（窒）化物（例えば Ti_3C_2 , Ti_3CN , V_2C , Nb_2C 等）及び $M'_2M''_nX_{n+1}$ で表される2種類の金属からなる金属炭（窒）化物（例えば Mo_2TiC_2 , Mo_2VC_2 , Cr_2TiC_2 等）となります。また、これらの分散液、樹脂複合体、蓄電池、電子デバイス等も許諾対象物質に含まれます。

<Ti₃C₂ MXene の電子顕微鏡写真>



当社は、国内企業や大学・研究機関等で開発された革新的技術について、ライセンスアウトやカーブアウトを通じた事業化に取り組んでおり、これまでに負熱膨張材料 BNFO、アップコンバージョン無機ナノ粒子など、革新的な無機材料の社会実装にも積極的に取り組んでまいりました。引き続き、無機材料の高機能化に取り組み、未活用技術の商業化を進めることで、エネルギーやエレクトロニクス分野のイノベーション創出に貢献することを目指します。

以上